

一般財団法人 F A財団

2022年度事業報告書（案）

2022年4月1日から2023年3月31日まで

1. 論文賞表彰事業

1. 令和4年（2022年）2月に行った7学会への推薦依頼に応じて、6月末日の締切までに論文賞候補17件が送られてきた。そこで、7月～8月に各審査委員に書面審査をお願いし、9月27日（火）に審査委員会（1名オンライン参加）を開催して授賞候補論文7件を選定してもらい、10月17日（月）の第31回理事会（書面審査）で授賞論文7件を最終決定した。12月9日（金）に霞山会館で開催した表彰式では、受賞者をはじめ、7学会関係者、来賓、役員・評議員・審査委員等、約50名の参加を得て、論文の著者に表彰状と副賞（1件100万円）を贈呈した。ただし、表彰式後に開催する技術交流会は、コロナ禍拡大防止のため今回も中止となった。
2. 審査委員会では、令和5年度以降の論文賞表彰事業全般についても意見交換を行い、論文賞の募集・審査・表彰のスケジュール、推薦依頼学会は今年度と同様で良いことになった。また、審査の基準・方法の改訂についても検討した。国際会議開催に関する援助については、当面の間、7学会が関与して国内で開催される論文賞に関連の深い分野の会議に限定して、資金援助を検討することになった。
3. 令和5年（2023年）2月に、令和5年度の論文賞候補の推薦を7学会に依頼した。

2. 運営・管理体制

1. 令和3年（2021年）度の決算に基づいて、6月30日（木）に公益目的支出計画実施報告書等を内閣府に提出した。
2. ファナック株式会社からの資金援助については、12月8日（金）に2,000万円の振り込みがあったので、管理費として運用することを前提として収入の部に計上した。
3. 昨年度に引き続き、当財団の内部規程を見直し、他の類似団体の諸規程も参考にして、当財団の諸状況に合致し、かつ一昨年4月に施行された「改正高齢者雇用安定法」の趣旨にも沿うように改訂した。

以上

事業報告の内容を補足する重要な事項が無い場合、事業報告の附属明細書は作成していない